

令和4年2月7日

瀬戸市議会議長
宮菌 伸仁 様

瀬戸市

瀬戸市一般廃棄物処理費用実施計画（案）へのパブリックコメントを提出しましたが、4件の意見が公表されていませんでした。なぜ、されなかったのか、事情を調査することを求める陳情書

陳情の趣旨

私は、瀬戸市ごみ推進会議の委員をしていますので、1月20日に令和3年度第7回ごみ減量推進会議が開かれ、パブリックコメントの報告がされました。そして、資料を受け取りました。

その後、パブリックコメントの報告資料を何回も読みましたが、市民意見の概要の項目に私の4件の意見が見あたりませんでした。

環境課に問い合わせた同月26日に担当者から瀬戸市パブリックコメント手続に関する要綱の第7条（意見の取扱い）2項（3）の内容が意見等を求めている案件に関係ないものと伝えられました。

私は、当日、以前からの案件もありましたので、同要綱を持参していませんでした。翌日、電話で確認をしたら第7条を聞きました。

瀬戸市パブリックコメント手続に関する要綱の第1条(目的)の行政機関が実施しようとする政策等について、広く公に意見及び改善等を求めるものと一致していると確信を持ちました。また、第2条（定義）では、公表したものに対する市民等からの意見、提案及び情報を幅広く聞き、提出された意見等を考慮して当該政策等の意思決定をすることとなっています。

環境課は、意見を狭く捉えて、歪曲して読んだように感じています。意見は、思うところも意見ですし、又、思うところを述べて、いましめるのも意見です。

地方公務員として、同要綱を誠実に取り扱うことを見失わないようにしてほしいと思っています。

陳情項目

1. 私の意見は、同要綱第1条(目的)、第2条（定義）にあたりと確信しています。よって、市長に対して、見直しを進言して下さい。



(写)

令和3年11月30日

「瀬戸市一般廃棄物処理費用有料化実施計画」(案)について

瀬戸市

1. 市民説明会に5回ほど参加しまして、市民の皆さんの意見や要望を聞きました。その中で有料化する前に、「プラスチックごみを燃やすのではなく、資源回収」が先、また、「資源化できるミックスペーパーの分別徹底や食品ロスの削減」すること等意見が出ました。私も全くその通りだと思いました。

この意見は、市民の意見の凝縮したものと受けとめました。これに対して、市はどのように検討する考えであるか、お聞きします。
2. 市の資料を読みますと、「どうしてごみを減らせないといけないの?」、「なぜ有料化が必要か?」と書かれています。市民が努力の弱かったことがあります、行政としてプラスチックごみ資源回収をしなかった大きな責任があります。

市議会で議員から何回も質問が出て、そのことを実行しませんでした。今回、私が参加したどの会場でも、「長久手市、尾張旭市の1人当たりの燃やす量の違いがあるが、どう分析したのか」の質問に対して、プラスチックごみの資源回収をしていないのが大きいと答えられました。

私は、それだけでなく市民が回収袋に入れる行為が、意識を変えていくことになり、それが市民に理解と協力を得てきた結果だと思っています。

非常に大切な施策を瀬戸市は、このことを放棄してきたという反省の考えをお持ちですか。
3. 有料化で袋の金額が、10枚で500円にすることについて違和感があります。なぜかといいますと、平成24年12月に実施された市民意識調査では、アンケートの問いに「ごみの有料化を検討します」とありますが、導入すべきでないという回答が62%寄せられています。

また、令和元年10月～12月に実施されたアンケートでは、有料を200円、300円で合せると64%でした。500円と答えた方は、16%といましたが少数でした。有料化を実施すべきでないという方が35%前後の単身から3世代世帯にいることも分かりました。

瀬戸市が提案している10枚500円について、有料化をすべきとする方が600円以上でも40%と記述されていました。

ここで聞きます、市民の方が困惑している中で、年度内に条例改正を瀬戸市議会に提出というスケジュールになっていますがこれはできるでしょうか。

このアンケートの結果のまとめに「このことから、市民への丁寧な説明により理解を求めていくことが必要となります」と述べられています。このことをまくら言葉に

ならないように受けとめて、対応を願います。

4. 今回、会場で部長の姿を見かけませんでした。2年前の「ごみ非常宣言・我が家のごみ、みんなでチェック」では、部長が挨拶をして参加者の質問や意見を聞かれる、そんな景色がありませんでした。

私の周りの方は、「もう決まった話だし、行って発言をしても」、「いつも、説明をして、一定の理解と協力を得たと言うだけでないか」など、しらけたムードがあります。

本気に、行政が実行しようとするならば、市長、始め幹部が市民の前に出てきて、課長以下の皆さんの努力に報いる支援が必要であると思いました。その思いが、市民に伝われば「ごみ減量に」動き出します。トップの姿勢のなさを他市と比べて感じています。